

平成26年10月10日

関係各位

一般社団法人日本口腔衛生学会
フッ化物応用委員会委員長 眞木吉信

インプラント専用歯磨剤として発売されたフッ化物無配合歯磨剤に対する見解

標記歯磨剤（商品名：ジェルコートIP）が、平成26年9月10日にウエルテック株式会社から販売開始されました。日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会では、以前からインプラントに多用されている純チタンおよびチタン合金に対するフッ化物の影響を検討し、リン酸酸性フッ化ナトリウムによる歯面塗布は避け、フッ化物配合歯磨剤の使用を提案しました（フッ化物応用の科学，口腔保健協会，2010年，139-146頁参照）。

ところが、ウエルテック株式会社では販売開始に先立ち、公益財団法人日本口腔インプラント学会の会員宛に「インプラント専用歯磨剤の開発経緯について」を送付しました。その中に、フッ化物配合歯磨剤（1,000 ppm以下）の使用は、インプラント周囲炎を引き起こすリスクになるので、インプラントを守るためのフッ化物無配合歯磨剤を開発したとあり、歯磨剤中のフッ化物がインプラント周囲炎を誘発するメカニズムの仮説と同製品の特徴ならびに写真が掲載されていました。また平成26年9月10日付の「新聞QUINT，第225号」の8-9頁に、ウエルテック株式会社がスポンサーである対談記事が掲載され、ほぼ同様な内容でまとめられていました。さらに、平成26年9月2日付の「日本歯科新聞，第1848号」の12頁に「低濃度フッ素もインプラントを腐食する？」というキャッチフレーズの広告が掲載されました。

現代はヒトを対象とした実験研究や疫学研究で証明された事実を、患者ならびに一般消費者に提供するEBMの時代であり、試験管での実験や仮説をそのまま適用することはできません。日本口腔衛生学会としては、EBMならびに「歯科口腔保健の推進に関する法律」の基本的事項に則って、フッ化物配合歯磨剤の適正使用を低年齢児から高齢者までのすべての人々に推奨してきた経緯があり、自分の歯を保有する人々に明らかなう蝕予防効果を認めてきたので、これを中止することによるう蝕リスクの増大を危惧することから、今回、フッ化物応用委員会より本件の見解を発出いたしました。

本件におきましては後日、詳しい情報を改めて提供する旨、申し添えます。